



Special Olympics
Nippon
Yamaguchi

スペシャルオリンピックス日本・山口ニュースレター

げんき!!

事務局 〒754-0002
山口県小郡町大字
下郷1511-4小郡印刷内
TEL(083)974-5712
FAX(083)973-3924
e-mail sonyamaguchi
@mbg.nifty.com

新会長に 多田桂次郎氏

河村隆子前会長は顧問へ



平成16年度の役員改選期に伴い、その顔ぶれに若干の変動があった。中でもSON山口の創成期から会長として手腕を発揮。公私共にSON山口の発展に尽力を尽くされてきた河村会長は、周囲の熱い要望にもかかわらず健康上の理由からどうしても会長職の続投を辞退。代わりに事務局長として河村会長と共にSON山口を支えてきた多田桂次郎氏が会長に就任。

会長就任にあたって

できる時に、できることを、できる範囲で
多田 桂次郎

この度、河村隆子前会長の後任として、先般行われました総会において皆様よりご推挙をいただき、私が会長を務めさせて頂く事となりました。

当会は、1999年11月にSO日本より認証を受けて以来、本年5周年を迎えることとなります。これまで、河村前会長の強いリーダーシップのもと、会員数635名、うちアスリートの数96名、実施プログラム競技9種目と他のSO地区組織に負けない大きな組織になりました。これも河村前会長のもと、会員それぞれの協力により培われたものだと思います。

その後任として私が適任であるかどうかわかりませんが、私は私なりにボランティアの基本である「できる時に、できる事を、できる範囲で」に立ち返り、みなさんの協力を得ながら会を運営していきたいと考えています。

現在、資金不足やプログラムの運営において会の置かれている状況は厳しいものがありますが、皆様どうかよろしくお願いたします。

河村前会長あいさつ

入院中のアスリートの見舞い
これに勝る薬なし
河村 隆子



SON山口の皆様、お元気ですか?今、東京の宿舎からのたよりです。

私は、一昨年8月、東京での国内大会を前にしたトーランの前日、盲腸炎で入院手術、そのおかげで肺ガンが見つかって、また手術を受けて以来、SOの皆様との楽しい交流のときが、少し遠のいてしまいましたね。

思いもかけない早期発見でしたので、右半分の切除手術だけで済みました。現在は、「いただいている命」に感謝しつつ、体力の回復にあわせた生活を送らせていただいています。

思えば、小郡公民館で、中村勝子さんの講演を聞いて以来、皆様と共に、「準備会」から発会へ...と、「SON山口」の「ゆりかご時代」本当に楽しい交わりをいただきました。

アスリート、ファミリー、ボランティアの皆が個性的で、思いやりのある仲間ですもの!!特に、私の入院中、アスリートからいただいたお見舞いのことばは、どんな薬にもまさるものでしたよ。

(前)会長さんのだんなさん(河村建夫のこと)が、文部科学大臣さんになって、今度は、国会議員の「SO議員連盟」ができて、そのお世話係になっています。

来年の長野での世界大会にむけて、SONの細川佳代子理事長さんも大奮闘中ですが、アイルランドに負けないような国民的応援がいただけるようになる事を願っています。

皆様の笑顔を思い浮かべつつ、SON山口の仲間のふえることを願い、私もその一員としてこれからもよろしくお願いたします。

SON山口、クラブ数九種目に

従来からの水泳、ボウリング、サッカー、テニス、体操、バスケットボール各種目に加え昨年後期からフロアホッケーとスキースノーシューが加わり、SON山口としてはクラブ数が九種目に増加。アスリート達は自分のやってみたい種目にそれぞれ参加。中には4種目以上のクラブに顔を出すアスリートもいる。

各種目のヘッドコーチに抱負なり実情なりを述べてもらった。

水泳部

ヘッドコーチ 山代幸男

元気で、楽しく、明るく、笑顔で

水泳プログラム今年度の目標

現在水泳プログラムに参加しているアスリートは34名です。SON山口のプログラムの中では最大のアスリートが参加しています。今後新しいアスリートの参加が予想される所です。又皆さんと一緒に指導していただいているコーチは34名の登録がありますが、現状では毎回の参加コーチが少ないのが大変残念です。益々アスリートが増加傾向にある中、数多くのコーチの参加を希望いたします。さて、アスリートの皆様には次のことを目標としてがんばって下さい。

1.Cグループで頑張っているアスリートはコーチと一緒に水の中で楽しく行ない、少しでも身体が浮き上がりバタ足が出来る様にして下さい。

2.Bグループのアスリートはビート板を使っての足バタが完全に出来て、面かぶりクロールが出来る様にする所です。そして1人でも多くのアスリートが、Aグループに上がれる様頑張ってください。

3.Aグループのアスリートへの希望は次のことです。

イ.息つぎの出来ない人はこの一年間で出来る様になることです。そして、クロールを完全にマスターして下さい。

ロ.完全に泳げるアスリートはクロールから背泳そして平泳ぎ バタフライと四種目の泳法をマスターして下さい。

4.各グループのアスリート達はそれぞれに合った目標を立ててこの目的に向かって頑張ってください。皆が元気で頑張ればコーチの私達も元気を出して頑張ります。この一年、前期10回後期10回の20回予定しています。そして「元気で、楽しく、明るく、笑顔で」を目標に一年間がんばって行きたいと思しますので、ファミリーの方々のサポートよろしく願います。最後になりましたが、コーチが大変不足しております。良い方がおられれば参加を呼び掛けて下さい。願います。

頭がうすくなり、足が短い水泳ヘッドコーチ 山代幸男より。

テニス部

ヘッドコーチ 長本政信

コーチの思いがアスリートの思いに

照射された時が真の喜び

「SO」を知っているかい?と仕事柄いろいろな学校の生徒(主に高校生)に聞くことがありますが近隣のO高校・U高校・M高校等ほとんどの生徒は「知らない」の返答しかありません。また、同僚に対しても同じ質問を投掛けても「どんな組織のことですか?」としか帰ってきません。運営委員会などもう少し「アピール活動をしっかりやりましょう!」といろいろな方々から意見が出ます。個人的にはボランティアとは友人・同僚に知れずに活動するのが基本だと普段心掛けている訳ですが運営資金等でそのような訳にはいかないのが実情です。しかし、職場では生徒のクラブ活動のひとつに「JRC」:junior red crossがありますがこのクラブ活動の部員も悲しい限りですが知らず、このクラブ顧問の方々が最近多少内容的にも知ってきました。

今まではヘッドコーチの事務的な雑用に近い仕事だけこなしておけばよくコーチの確保に奔走することもなく何事も立場が違うことによりこんなに心痛を伴うことかと認識させられました。

このSON・山口に名を連ねることのきっかけを思い起こせば、平成13年の末頃三隅プログラム委員長に数名の教職員がお目にかかり、SON・山口の説明をお聞きし、テニスの手伝いを要請され、我々に出来ることであればと言うことで参加させていただいたのがきっかけとなり現在に至っております。当初は長年のテニスの趣味が他で何かに役立てばと軽い気持ちで参加させていただいたのですが回数を重ねる毎に「アスリート」・「ファミリー」の方々との対話・行動がスムーズに行えず戸惑いの連続でした。けれど、プログラムを消化するうちにパーフェクトとまではいかないまでも一回一回のプログラムの後でほんの少しではありますが心の何処かに「アスリート」との会話が“心と心”で出来たのではないかな!と心境になることがありその日が何か人知れず自分自身“心”の充実感を覚えます。こんな心境は私だけでしょうか?きっとSON・山口に係りのあるコーチは皆さん同じ思いをしていらっしゃるかと確信いたしております。

本当の「喜び」とは、私自身他の人に対する少しのお手伝いによる相手方の“思い”“行動”がそれにより達成されたときに喜ばれることを身近に視線から入力され、それが、“脳”“心”による認識がなされることと自分勝手に定義しているところです。

これから将来どの程度お手伝いできるのか明確ではありませんが自分自身の健康のためにも続けるつもりでいます。いつも「TAKE IT EASY」:のんきに構える・くよくよしな

い・かっかしないの心持で今後も一步一步あゆんでいきたいと思っております。「アスリート」・「ファミリー」・「コーチ」の方々と一緒にますますSON・山口の大きな発展を願っております。

スキー・スノーシューイング ヘッドコーチ 西川浩子 スキー・スノーシューイングどんなスポーツ？

スノーシューイングプログラムは、今年の11月から新しく立ち上がったプログラムです。スノーシューイングとは、雪の上を、スノーシューという縦70cmくらいの軽い金属スリッパ(???)のようなものをはいて雪の上を走る競技です。雪国ではなじみの深いものらしいですが、山口県人のコーチは、コーチクリニックで初めてスノーシューを目にしました。はいて走ってみると意外とおもしろい(+きつい)ですが、誰でも、どこでもできるというメリットがあります。プログラムを始めてみると、アスリートが非常に速く走るのにびっくりしました。100mを19秒で駆け抜けるアスリートもいました。別に速くなくても、非日常的な雪の上で走るというスポーツは、アスリートにとって、とても新鮮で楽しいもののように見えました。2回のスキー場でのお泊まり合宿も元気にこなし、2月の長野大会には、5名のアスリートが参加しました。リレーは銀メダル、個人競技でも金、銀、銅メダルを得て、全員がメダルを胸にかけて帰郷しました。みんな、本番に強く、練習、予選、決勝と進むにつれてタイムをぐんぐん伸ばしていったことが印象的です。それから、小学生が3名含まれていたにもかかわらず、コーチと一緒にきちんと選手村生活が送れたこともとてもうれしいことでした。大会参加をステップに、また少し大きくなったように感じます。



全国大会長野・表彰台で喜ぶ山口代表アスリート達。本文と写真は関係ありません。

アルペンスキープログラムは、今回はスノーシューイングとともに行いました。スキーは芝生の上というわけにも行かず、時間が限られているため、十分にはできませんでしたが、来年度も引き続き根気よくやっっていこうと思います。3月も

過ぎると、もう雪はなく、プログラムは休眠状態です。暖かい間は、別のプログラムでしっかり体を鍛え、また、寒くなってきたら一緒に雪の上に飛び出していこうね。

バスケット部 ヘッドコーチ 竹永吉伸 バスケットプログラムについて

バスケットボールプログラムは、今年度で3年目をむかえます。

最初は恐る恐るプレーをしていたアスリートも、今ではパス、ドリブル、シュートと自信を持ってプレーするようになりました。

しかし、まだまだ可能性は広がります。今年度も更に飛躍したアスリートのプレーが見られるよう、様々な練習を取り入れていこうと考えています。

特に、今年度からは、個人スキル競技の練習を重点的に取り組んでいくつもりです。ドリブル、パス、シュートと、それぞれの技術が向上することで、更にバスケットボールが楽しくなるでしょう。

また、昨年度は準備体操の代わりに、ジャザサイズを取り入れました。音楽に合わせて体を動かすジャザサイズは、アスリートにもファミリーにも大好評。

「いろんなことを楽しみながらやる。」そんなプログラムをみんなで進めていきましょう。

サッカー部 ヘッドコーチ 和田孔明 サッカー部の雰囲気良好

僕がコーチをしているサッカープログラムは、アスリートにサッカーを楽しんでもらうことを目的として毎回楽しく活動しています。

サッカーはボールを蹴ってゴールにいれるというシンプルなルールのスポーツで、世界で最もポピュラーチームスポーツだといわれています。

スペシャルオリンピックスの活動でも世界中の多くのアスリートがサッカーを楽しんでいます。山口でも数年前から始まり、現在も多くのアスリートが参加してくれています。練習内容としては、様々な障害物を置いたグラウンドを走ったり、コーンを狙ってシュートしてみたりと、楽しみながら体を動かすということを意識しています。アスリートと同年代の学生がコーチをしており、プログラム全体の雰囲気もとても良いと思います。

サッカーというチームスポーツをすることによって、チームスポーツならではのチームメイトと喜びを共有する楽しさやうれしさを感じることができると思います。

また、サッカーとは別にALPs(アルプス)というプログラムも行なっています。ALPsとはアスリート・リーダーシッ

プ・プログラムの略で、アスリートが中心となって様々な活動を行なっていくことを意味します。話し合いなどを通して社会性や創造性を伸ばしていく良いきっかけとなると思うので、ぜひ多くのアスリートに参加してもらいたいと思っています。今年度最初のプログラムは4月から始まり、現在活動しています。今年中にアスリートが企画した行事を実際に行なってみようと思っているので楽しみにしてください。

僕自身まだまだ勉強不足ですが、これからも楽しいプログラムをしていけるように努力するので、よろしくおねがいします。

'04年チャリティーボウリング大会

2004年度スペシャルオリンピックス日本・山口のチャリティーボウリング大会をいつもボウリングプログラムで使用させていただいている小郡スーパーボウルにて4月29日に開催いたしました。小郡町ボウリング協会会員の皆様にも多数参加していただいたこともあり、全体的にハイレベルな大会となりました。その中で優勝の栄冠を勝ち取られましたのは山根江身子さん。スクラッチ562ピン+ハンデ60ピン合計622ピン(3ゲーム)の見事な成績でした。第2位はX-12クラブの会長永見哲弘さん。1ゲーム目に9回連続ストライクを出され、あわやパーフェクトゲームかと期待されましたが、残念ながらパーフェクトは出ませんでした。当会アスリートの中で最も成績がよかったのが山根昇悟くん。3ゲーム目には196ピンを出すというすばらしい活躍でした。終了後一般の参加者の方々から「大変面白かった。また企画して欲しい」との声を多数いただきました。また、チャリティーによる収益は414,000円になりました。

今回は216名というこれまでにない多くの参加者がありましたが、準備期間も短かったこともあって、参加者の皆様には行き届かない点が多数ありましたことをお詫び申し上げますとともに、ご協賛やご協力をいただきました小郡町ボウリング協会はじめ各方面の皆様方に深く御礼を申し上げます。

多田桂次郎

2004冬季長野大会

スキースノーシューイング堂々たる入場行進と輝ける成績

2004年冬季ナショナルゲーム長野大会が2月27日から3月1日まで「つながる、ひろがる、笑顔の結晶」のテーマで同県のホワイトリングで華やかに開催された。細川理事長、田中長野県知事、高円宮妃殿下のあいさつなどと共に、もと大相撲の大関「小錦」もサポーターとして登場、盛大な開会式であった。

開会式にはスペシャルオリンピックス会長ティモシー・シュライバー氏が来場され、「Action [活動]」をキーワード



SON山口から元氣一杯の参加者

に、来年の長野世界大会に向けてのものと、スペシャルオリンピックスの活動を広げて行くことへのActionの大切さを力説。また長野に来たくなるような暖かくて、力強い閉会式でのあいさつに感銘を受けた。

西川浩子

以下は長野大会競技結果である。

スノーシューイング

山崎慎也	100m	4位
	400m	6位
	100m×4リレー	2位
楠本健太	100m	3位
	400m	1位
	100m×4リレー	2位
西川鉄郎	100m	1位
	400m	3位
	100m×4リレー	2位
大畑昌子	100m	1位
	400m	1位
	100m×4リレー	2位
小方基宏	100m	2位
	400m	5位

フロアホッケー(ユニファイド) 2位

池本昌太、石村和也、上野寛志、神田昌昭、津島寛一、原田祥吾(以上アスリート)、伊藤律子、上村めぐみ、小桜あゆみ、檀上めぐみ、徳重桂子、濱田佳菜子(以上パートナー)

金メダルの取れなかった長野大会

次回は金を目指して

アスリート 小方 基宏

この度、SON・山口で冬季プログラム(スキー/スノーシュー)がスタートしたので僕はスノーシューイングにチャレンジしました。

僕にとっては、雪ふれあいプログラムもスキー場に行くのもこの世に生を受けて28年、生まれて初めての経験でした。

プログラムのない日には、仕事から帰ってスノーシューを履く練習をしました。競技中に脱げると、失格になるからです。

大会期間中は、長野のDA（ボランティア）の方に沢山お世話になりました。

僕の結果は、100mで銀メダル、400m第5位の黄色リボンのメダルでした。



SON山口選手団の堂々の入場行進

金メダルでなかったのですが、2005年の世界大会への切符を取ることができず残念でした。でも、僕はスペシャルオリンピックスの理念の「たとえ勝てなくても、頑張れる勇気を与えて下さい」をめざし、頑張ったつもりです。

第1位にはなれなかったけど、ナショナルゲーム長野大会に出場できたことはよい思い出になりました。

第2回プログラムでも練習に専念して、次の大会では金をめざしたいです。

5月23日(日)SON理事長 細川佳代子さん講演とAble2上映

宇部湖水ホール

来る5月23日(日)宇部市湖水ホールでSON理事長の講演がAble2の上映に先立って次の予定で行なわれる。多数の参加を期待。

日時：平成16年5月23日(日)13時～14時 細川さん講演

14時15分～15時45分“Able2”上映

“Able2”の簡単な紹介

昨年、アイルランドでスペシャルオリンピックス夏季大会が開催された。日本から57名のアスリートが参加。受入先の家族と彼らの温かい交流。そしてエイミーとう知的に障害をもつ女の子との感動的な出会いとエピソード。

2004年スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲーム長野大会リトルドロップ賛助者ご芳名 《3月31日現在》

秋本 達子	伊東 孝子	糸賀 進	上野 清子	大浜 孝介	加藤 京子
伊東 幸子	岩城 三恵子	上田 真寿美	浦辻 友博	岡本 摩綾子	河村 淑子
岩城 精二	内田 スマ子	内田 美代子	大畑 猛	織田村 貢	楠本 由美
内田 和芳	岡村 みやこ	大塚 日登美	岡本 利枝子	川田 和浩	小林 節子
大石 博夫	岡村 妙子	岡本 日出雄	小田 静子	楠本 和浩	佐々木 美都喜
岡村 秀三	小方 英生	小郡製氷(株)	兼次 篤子	神田 芳子	清水 喜代子
小方 和子	金井 寿生	金沢 光一	きんすい	ささい小児科	(有)新洋建設
金井 健一	木谷 秀勝	木下 功	神田 昌昭	篠原 宣行	多田 桂次郎
河村 秀夫	小池 徳子	神田 勝敏	佐川 正法	新 関範	中馬 広美
くに企画	斉藤 健一	佐伯 紘子	重富 光子	竹谷 シゲ子	中村 ヒサエ
近藤 恵美子	重田 強子	重富 くに子	白井 千歳	千々松 トキ子	日本通運(株)
塩田 峯子	下川 精三郎	下永 松枝	竹内 恵子	中村 和子	原田 栄
清水 弘子	副島 由行	高木 明治	田村 美代子	新田 幸江	東川 美佐子
杉山 耕二	田中 弘幸	田村 スミエ	(株)とみ美容室	原田 エツ子	藤村 美紗子
田中 寛一	鶴 嘉世子	富田 裕一	西村 博安	パブ キャット	松井 美子
津島 雅裕	ニシムラ内科	西村 トミ子	林 泰子	藤井 トシコ	右田 サミ子
野間 和子	西村 恵子	林 睦子	原田 マシエ	(株)マダ	宮川 雅孝
原田 シナコ	乗安 恒子	原田 富	福田 幸子	右田 早苗	山口 一裕
久野 キミ子	原田 金子	廣津 隆史	前田 昭子	水上 嘉樹	山口 幸男
藤本 敬子	久光 運送(有)	古谷 良枝	右田 幸子	森 テル子	山村 渉
松尾 操子	フタバ	松本 勲	三隅 泰子	山下 三恵子	山根 次男
右田 文子	松永 節子	右田 良子	室積 信子	山村 富子	他に匿名の方数
三好 和子	右田 美代子	村田 良江	山下 陽広	芳村 弘子	名あり。敬称略
山口 政子	三輪 トシ子	山下 憲太郎	山根 佳志子	伊藤 郁子	拠出額合計
山田 房子	山崎 慎也	山根 雅子	義永 サチエ	井上 陽子	464,500円
横沼 邦正	山田 正昭	吉田 紀子	石村 真奈美	歌田 浩久	
吉山 宏	横山 えみ	渡辺 ミチコ	井上 美代子	江崎 律子	
粟井 洋子	レオンセントラル	池本 昌幸	上野 寛志	大浜 洋子	
	池村 勲	井上 博夫	榎 夏代	岡本 麗子	

御協力心から感謝致します。ありがとうございました。

平成16年度SON山口の役員決まる

平成15年度会計と16年度予算

は評議員

評	役職	氏名
	会長	多田 桂次郎
	副会長	山根 佳志子
	副会長	三隅 泰子
	副会長・広報委員長	清木 和義
	事務局長	伊東 幸子
	会計責任者	小方 英生
	財務委員長	岩城 三恵子
	財務副委員長	竹山 由江
	医療委員長	西川 雅裕
	医療副委員長	三隅 弘三
	企画委員長	安田 三和子
	企画副委員長	中島 真理子
	企画副委員長	渡壁 康弘
	会員拡大委員長	粟井 洋子
	会員拡大副委員長	山縣 澄子
	会員拡大副委員長	神田 芳子
	ファミリー委員長	小方 和子
	ファミリー副委員長	横山 るり子
	プログラム委員長	三隅 隆弘
	プログラム委員	山代 幸男
	プログラム委員	山田 正昭
	プログラム委員	石井 映子
	プログラム委員	和田 孔明
	プログラム委員	渡壁 史子
	プログラム委員	西岡 繁樹
	プログラム委員	長本 政信
	プログラム委員	大浜 洋子
	プログラム委員	岡村 敦子
	プログラム委員	西村 みつ枝
	プログラム委員	徳重 桂子
	プログラム委員	竹永 吉伸
	プログラム委員	町田 智子
	プログラム委員	西川 浩子
	プログラム委員	濱田 佳菜子
	監事	山本 充
	監事	重本 美智代
	顧問	河村 隆子
	顧問	岩城 精二
	顧問	足立 進
	顧問	綿田 道宣

収入の部	2003年度決算額	2004年度予算額
寄付金収入	571,826	1,630,000
寄付金収入	538,716	410,000
チャリティ缶収入	33,110	20,000
(新)NG長野リトルドロップ		1,200,000
賛助会費収入	904,000	990,000
団体会員	160,000	150,000
個人会員	744,000	840,000
事業収入	444,121	918,250
「エイブル」上映会	402,121	0
ボウリング大会	0	0
聖火リレー	0	0
(新)細川理事長講演会		500,000
(新)設立5周年記念事業		200,000
物品販売収入	42,000	
書籍販売収入		68,250
Tシャツ販売収入		150,000
補助金等収入	0	47,250
負担金収入	0	0
雑収入	60,688	50,000
特定預金取崩収入	1,000,000	0
繰入金収入	0	0
前期繰越金	685,680	424,671
合計	3,666,315	4,060,171

支出の部	2003年度決算額	2004年度予算額
事業費	2,138,847	2,675,800
スポーツプログラム費	374,610	233,300
競技会費	0	0
大会参加費	282,718	1,500,000
ナショナルミーティング費	648,291	0
ALPS研修費	156,630	150,000
コーチ研修費	282,020	80,000
専門委員会費	283,278	140,000
行事費	0	220,000
広報事業費	111,300	200,000
販売物品購入費	28,000	152,500
管理費	877,089	1,020,000
給料手当	0	0
福利厚生費	0	0
会議費	17,111	10,000
旅費交通費	264,560	250,000
通信運搬費	335,694	360,000
消耗什器備品費	0	0
消耗品費	108,601	90,000
印刷製本費	7,536	20,000
光熱水料費	0	0
修繕費	0	0
賃借料	100,000	240,000
雑費	43,587	50,000
過年度助成金返還	197,708	
特定預金支出	0	0
繰入金支出	0	0
予備費		364,371
次期繰越金	424,671	
合計	3,666,315	4,060,171

今年は役員交代の年である。不備ではあったが一応選挙で役員選出という形はとれた。次回からもっとすっきりした形にしたいもの。今年から広報担当が清木になる。昨年までの2年間は神田(コウダ)さんの担当だった。記事の収集から整理、編集まで大変な苦労があったと推察。新聞編集の苦難さは並大抵のことではない。神田さん本当にご苦労様でした。

編集長後記

私自身この2年間SOに携わって感じることのひとつは会員への情報伝達不足である。伝達手段の考慮が必要である。

諸々のこと、ご意見があればどしどし広報係にお寄せ下さい。

広報には大浜洋子と西川が加わります。よろしくおつき合ください。

(清木和義)